

(様式 3 : **全対象事業共通**)

平成 30 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再生可能エネルギー普及啓発事業
補助事業者名	島根県
補助事業の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・再生可能エネルギー教室 小学生及び中学生を対象に、再生可能エネルギーに関する教室を開催</li><li>・再生可能エネルギー研修会 小中学校教員（理科教員等）を対象に、再生可能エネルギーに関する研修会を開催</li><li>・太陽光セミナー・相談会 太陽光発電設備を設置した者及び関心がある者に対して、保守点検をはじめとする太陽光発電事業が安全かつ長期にわたり安定的に電気の供給を継続できるよう、セミナーを開催</li></ul>
総事業費	6,592,189 円
補助金充当額	6,592,189 円
定量的目標	<p><b>【再生可能エネルギー教室・研修会】</b></p> <p>小・中学生を対象とした「再生可能エネルギー教室」、教員を対象とした「研修会」を開催し、再生可能エネルギーに関する参加者の理解を深めることを目標とします。</p> <p>このため、分かりやすく、関心を高めるような工夫した実施内容に努め、実施後においては、理解度合いを把握するため、アンケート調査を実施し、「よく理解できた」「おおむね理解できた」が参加者全体の 8 割を成果指標とします。</p> <p><b>【太陽光セミナー・相談会】</b></p> <p>セミナーを参加後、太陽光発電設備を設置している者が自身の設備の定期的な点検や危機管理が必要という意識を持ってもらうことが大切と考えます。</p> <p>このため、セミナー実施後に、相談会に参加、もしくは太陽光発電の簡易診断をする者が全体参加者の 4 割を目標とします。</p>

<p><b>補助事業の成果及び評価</b></p>	<p>将来を担う児童生徒等を対象とした再生可能エネルギーの理解促進の取組みにより、裾野の広い普及啓発活動として、再生可能エネルギーの導入推進に向けた基盤づくりとなりました。また、一般県民に対してセミナーを実施したことにより、発電設備所有者の保守点検の重要性の理解や設備を安全かつ長期安定的に利用することについての意識を高めることにつながりました。</p> <p><b>【再生可能エネルギー教室】</b></p> <p>実験・体験する機材が学校にはない教材であること、自転車発電は楽しみながら発電の大変さを素直に実感できること、ピラミッドランキングは、アクティブラーニングの実践であること等、教員からも高評価でした。</p> <p>再生可能エネルギー教室アンケート結果においても、97%の児童が「よくわかった」「まあまあわかった」との回答でした。五感を使って学習し、児童生徒の興味を高めるプログラムを充実させることによって、再生可能エネルギーについてより理解を深めることが出来ました。</p> <p><b>【再生可能エネルギー教室（児童クラブ）】</b></p> <p>児童クラブでの再生可能エネルギー教室アンケート結果においては、89.3%の児童が「おおむね理解出来た」との回答でした。「電気の原料の石油が枯渇していく中で、エネルギー使用はいかにあるべきか」や、「電気（エネルギー）を大切にすること（無駄遣いしない）」など、本教室を実施する上でのテーマを子どもたちに素直に訴えることが出来たと考えます。自由アンケートにおいても、「電気（エネルギー）のことがわかった」の回答が多かったことから、子どもたちへの普及啓発という本事業の効果を上げることは出来ました。また、支援員アンケートにおいて、「私たち大人も心にとめて日々暮らしたい」など、大人の自分達も考えさせられた旨の意見がありました。本事業の対象は、小学校低・中学年ですが、付加的な効果として支援員に対する普及啓発効果がありました。</p> <p><b>【再生可能エネルギー研修会】</b></p> <p>児童生徒の理解促進にも更なる効果を見込むため、学校活動</p>
---------------------------	--

	<p>において指導に当たる教員を対象とした研修会を開催しました。</p> <p>参加者に再生可能エネルギーに関する理解度合いを把握することを目的に実施したアンケートでは、「よく理解できた」「大体理解できた」の割合は93%でした。</p> <p>自由意見では「環境問題に関して、生徒へのアプローチの仕方がよくわかりました。授業で活用していきたい。」「環境教育における視点や、子ども自身体感したり、考えたりする大切さを再認識できた。」など、有意義な研修であったことが確認出来ました。</p> <p><b>【太陽光セミナー・相談会】</b></p> <p>セミナー実施後に、相談会に参加、もしくは太陽光発電の簡易診断をする者は全体参加者の1割に留まりました。しかし、もっと聞きたかったとの感想も多く、参加者からは好評でした。再度開催されないかなどの問い合わせも多くいただいており、関心が高いテーマであることを実感したところです。次年度も引き続き同様のセミナーを開催し、設備所有者の意識を高めるとともに、設置事業者や関係者への周知を促し、設備を安全かつ長期安定的に利用するため、意識改革や保守点検の重要性について啓発していきます。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)</p>	<p><b>契約（間接補助）の目的</b></p>	<p>① 平成30年度「再生可能エネルギー教室・研修会」開催業務</p> <p>② 平成30年度「再生可能エネルギー教室（児童クラブ（東部））」開催業務</p> <p>③ 平成30年度「再生可能エネルギー教室（児童クラブ（西部））」開催業務</p> <p>④ 平成30年度「再生可能エネルギー教室（冬休み：児童クラブ（西部））」開催業務</p> <p>⑤ 平成30年度「太陽光セミナー・相談会」開催業務委託</p>
	<p><b>契約の方法</b></p>	<p>① ② ③ ④ ⑤すべて随意契約</p>
	<p><b>契約の相手方（間接補助先）</b></p>	<p>① ②東和环境科学株式会社</p> <p>③ ④特定非営利活動法人コアラッチ</p> <p>⑤ 縁パワーしまね</p>

	<b>契約金額（間接補助金額）</b>	① 東和環境科学株式会社 2,293,920 円 ② 東和環境科学株式会社 1,728,000 円 ③ 特定非営利活動法人コアラッチ 1,248,048 円 ④ 特定非営利活動法人コアラッチ 416,430 円 ⑤ 縁パワーしまね 797,239 円
<b>来年度以降の事業見通し</b>	次年度も、再生可能エネルギー普及啓発事業として、同様の事業を継続する予定です。また今年度実施した太陽光セミナー・相談会については、他圏域での開催など検討しております。	

（備考）

- （１） 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- （２） 補助事業の成果及び評価の欄には、（１）で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- （３） 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- （４） 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。